

広報せとうち7 令和4年 月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん！



まちの人口と世帯 住民基本台帳 令和4年5月末

人口 | 合計
8,476 人 (前月比: - 19)

人口 | 男
4,172 人 (前月比: - 11)

人口 | 女
4,304 人 (前月比: - 8)

世帯数 | 合計
5,186 世帯 (前月比: - 9)

もくじ —information—

- 02 | pick up news
「諸鈍デイゴ並木の下で花びらひろいピクニック」
- 04 | 7月のお知らせ
- 25 | まちのできごと
プレ・ゴールデンエイジ事業開講！ほか
- 28 | 古高だより
- 29 | 戸籍の窓
- 29 | 7月休日当番医のお知らせ



5月18日（水）真っ赤な花びらがたくさん！

諸鈍デイゴ並木の下で 花びらひろいピクニック



梅雨時期とは思えない快晴となったこの日は、
絶好のピクニック日和！
諸鈍デイゴ並木前に集合して、主催の株式会社 木風（こふう）
の樹木医、後藤瑞穂先生から説明を受けます。
拾い集めた花びらは、乾燥させて、アロマオイルなどに利用
できないかを調べるために使われます。



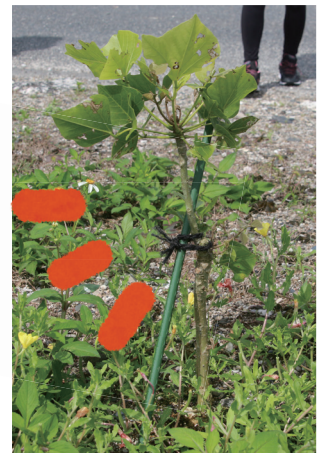
乾燥が進むように、紙袋に入れましょう！
（去年はビニールの袋を使用して、乾燥が進まなかったそう）



土などがあまり付いていないものが
良いとのことで、先生に確認します



ひろった花びらは紙袋へ



道中に、デイゴの苗木たちを
発見！先生方が植えたそうです。



ハートの形の
サンゴ石発見♡

デイゴ並木へ
行かれた際は
ぜひ探して
みてください！



木のそばにいくつも埋まっている、
これは一体何でしょうか？

これはプレスパイプと言い、木の根
が呼吸しやすくするためのものです。
木風が受託した特定離島ふるさとおこし
推進事業（諸鈍デイゴ並木樹勢回復事業）
にて埋設されたものです。



並木道を歩いていると、おさんぼ中の
諸鈍保育所の子どもたちに会いました。
子どもたちも、花びらひろいのお手伝い！

おかげさまで、こんなにたくさんの
花びらが集まりました！



デイゴは心を豊かにするだけでなく、役に立ってくれる木です



樹木医 後藤 瑞穂 先生

2018年から、諸鈍のデイゴの調査をしています。木の中の健康状態を調査して、昨年までの3年間、治療を行いました。諸鈍は、住民がデイゴのそばに住んでいて、人の生活で木が育まれていきます。私は、デイゴでサーキュラーエコノミー（これまで廃棄物となっていたものを資源と考え、活用し、資源を長く循環させること）を目指しています。すでに樹皮は生薬として使われています。花びらをアロマやエッセンシャルオイルとして活用し、人々の役に立つと、落ち葉などのお世話も楽しくなるかもしれません。これからも、人間と木が一緒に生きていけるよう、治療や見守りを行っていききたいと思います。

先生方の講話から

いつまでも、貴重な植物を野山で見ることができるよう

「大地は子孫からの預かりもの」という言葉があります。自然を実際に見て愛でることが、守りたいという気持ちに繋がります。一人ひとりが意識を持ち、百年・千年先までも、大切な遺産を守り、次代へ繋いでいきましょう。

奄美大島は、その緯度が絶妙で、亜熱帯から温帯の植物を見ることが出来ます。特徴的な気候により、固有の植物が多くあり、ほぼ瀬戸内町で見られない植物もあります。身近にある植物も、「たくさんあるから」と、みんな取ってしまえば、資源は枯渇してしまいます。また、浜に漂着物が溜まっていると、海岸植物が傷んでしまうこともあります。



奄美群島認定エコツアーガイド
國宗 弓穂 先生

生間港のデイゴの前で、みんなで記念撮影！



こちらは古仁屋のコーラル橋横のデイゴです
(R4.5.19 撮影)

デイゴの花びらをたくさんひろって、奄美大島の自然、身近な環境について考え、盛りだくさんの楽しい一日でした。また来年のお花の時期が楽しみです。来年もその先もずっと、大切な植物たちを守り、共に生きていける島であるために、できることを日頃から考えていきたいと思えます。

